

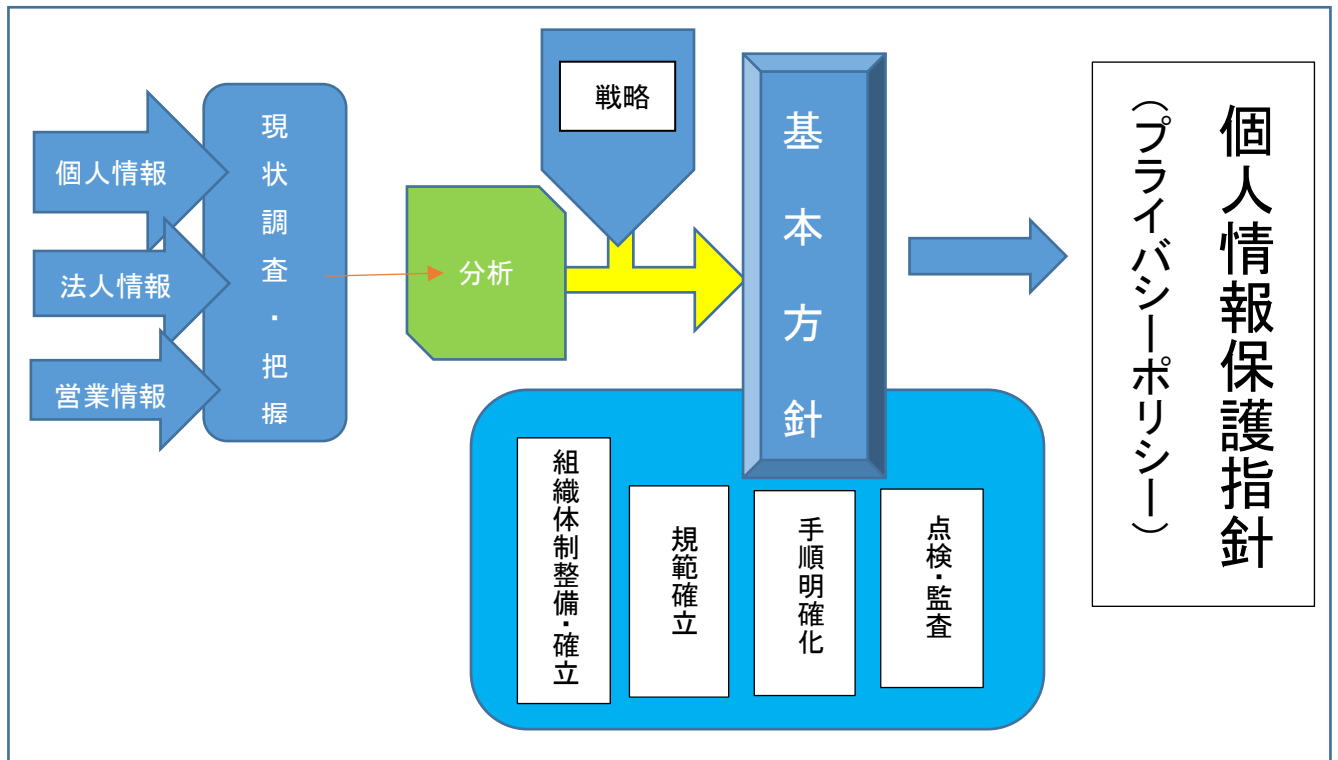
# プライバシーポリシー作成手順書

2017. 5. 1

牧野総合法律事務所弁護士法人

個人情報保護指針（プライバシーポリシー）を作成する場合、雛形を利用するのは有効ですが、いきなり指針の作成に入るのは危険です。体制整備などを行いつつ、実のある指針を作成しましょう。

弊事務所の提案する『個人情報保護指針サンプル雛形』の利用方法をご説明いたします。



- 1 **現状調査・把握** まず、企業の取得・収集・利用・保管している個人情報群を調査し・把握する。同時に、個人情報の収集のフロー、管理状況等も調査し、個人情報の拡散・散逸状況も把握する。
- 2 **分析** 1の結果から、現状の個人情報、保有個人データの分類、体系化を進める。同時に、今後の個人情報の活用方針、戦略を確定・把握する。
- 3 **基本方針策定** 2の検討に基づいて、会社としての基本方針、体制整備、重点対策、ルール作り、ルールを実施するための手順を定め、点検・監査まで検討する。
- 4 **個人情報保護指針** 3の基本方針のうち、広く公表しておくべき部分、公開が望ましい部分を確認し、保護指針として整備し、公開する。

弊事務所の提案する個人情報保護指針（プライバシーポリシー）の雛形は、最終段階の公開すべきものを検討するための資料として利用されるのが最適です。単に雛形等を写すといった方法では、むしろ危険が拡大しますので、ご注意ください。